

かまくら LIBRARY 図書館 だより

SINCE 1911

No.116

● 鎌倉市図書館のホームページ

パソコンから <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

携帯電話から <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/i>

● Twitterで知られざる図書館情報 随時配信中

http://twitter.com/#!/kamakura_tosyok



図書館、
市民ともりあがってます！



Hisako Yoshikawa

フルートによる本の森のコンサート



は、こんなでした！



珈琲野郎さんたちによる珈琲と交流

第7回目の図書館まつり「ファンタスティック☆ライブラリー」。

今回のテーマは「バリアフリー＆資料保存」。

市民の実行委員会形式で、市民団体やボランティアのみなさんと協力して開催しました。

皆様にご協力をいただいている図書館基金で購入した鎌倉の鳥瞰図のお披露目会や鎌倉のフルート奏者、吉川久子氏による“本の森コンサート”を行いました。また、「鎌倉を愛したイラストレーター伊藤

正道氏絵本原画展」を市内全5館で同時開催し、スタンプラリーも実施！湘南モノレールご協力のもと、キャラクター「しょもたん」もかけつけた湘南モノレールの16ミリ上映会のほか、シンポジウム「鎌倉の歴史的公文書の保存について」、「多文化おはなし会～フランス語～」など「バリアフリーと&資料保存」の趣向をこらした催しを行い、のべ970人ものご参加をいただきました。

伊藤正道氏 絵本原画展も好評！



「バスで行く！寒川文書館・鶴沼公民館」

上記は、寒川文書館



昭和 20 年代の鎌倉鳥瞰図お披露目会 …10/5～10/13

図書館振興基金で、はじめて、鎌倉の郷土に関する貴重資料を購入しました。

募金箱・振込み等で募金にご協力いただいている皆様、この場を借りてお礼申し上げます。

今回、購入したのは、鳥瞰図「国際観光都鎌倉市観光鳥瞰図」(画／中村慈郎)です。描かれたのは昭和 25～26 年ごろとみられます。作者の中村慈郎は、鳥瞰図の大家吉田初三郎の弟子で、神奈川、静岡、山梨、長野県内等多くの作品を残しています。大きさは縦 338 ミリ×横 1508 ミリです。

年間 2,000 万人の観光客が訪れる観光都市鎌倉にふさわしい資料であるとして図書館協議会で承認され、購入しました。

展示「資料に見る観光都市鎌倉」では、江戸時代～昭和 30 年代までの鎌倉の観光についてとりあげました。『新編鎌倉志』他各種古絵図等です。9 日間の展示会に 300 人以上の方に来場いただきました。振込等で募金してくださった方々もお招きしました。作者の中村慈郎氏のご家族と鳥瞰図研究家もいらして「持つべき所に納まって良かった」と喜んでいただきました。

これからもこの貴重な郷土資料を大切に保存し、皆様にご覧いただく機会を作っていきます。

今後とも鎌倉市図書館振興基金へのご協力をよろしくお願いいたします。



鳥瞰図「国際観光都鎌倉市観光鳥瞰図」

湘南モノレール 16 ミリ映画会&トークの会 …10/18



「まだ入れないのですか？」時計はまだ 12 時 30 分。「開場は 13 時からですよ」と思いながら、しばらくお待ちいただく。待ち切れない様子に、こちらもチョッピリうれしくなる。13 時 15 分、ロビーで「しょもたん様」の撮影会が始まった。しょもたん様とは、湘南モノレール(株)のマスコット

キャラクターであり、今流行の「ゆるキャラ」である。

さて、いよいよ 16mm 映画「湘南モノレール」上映。約 50 年前の大船付近、深沢・西鎌倉付近の風景から始まり、基礎工事、柱の建設、車両の製作情景、また、最大の難工事といわれた横須賀線の上を跨ぐ橋

梁工事の映像、そして開通式の情景で終る。わずか 24 分の記録映画であるが、ご覧になられた方々が、懐かしがられたり、感心されたりの様子が伺えた。

続いて湘南モノレール(株) 早川課長のトークの始まりである。開発の意図から開通後 45 年間の流れ、現在の経営状況等、早川氏の巧みなトーク・軽妙なジョークに会場の皆さんもうなづいたり、笑ったり…。質疑応答に入り、鉄道マニアの質問や、子どもさんたちからの質問等があり、あっという間に終了となった。会場の皆さんも満足げなお顔でお帰りになった。アンケート回答の中にもあるように、今回地域に密着した題材を選んだことが成功の元かと思い、もう来年の事を計画したい気持ちで、最後に菊池図書館長をはじめ担当職員の方々、湘南モノレール早川課長に厚く御礼を申し上げたい。しょもたん様もありがとう～。

(鎌倉視聴覚協会・森本和夫)

☆湘南モノレール 16ミリ映写会とトークのアンケートから

- ・地元に着した子どもから大人まで楽しめる楽しい企画。
- ・モノレール建設にあたって、鎌倉山の住人が反対したとの話を聞きました。でも、今は、とっても後悔しているとの話を聞いたことがあります！
- ・工事の様子を初めて見て感動しました！

「かまぐらの女性史」朗読会 …10/19&26

市内の老人福祉センターを会場とするこの朗読会も今年で3年目を迎え、10月19日は名越、26日には玉縄のセンターで開催させていただいた。私たちのメンバーでフリーアナウンサーの石崎和子による朗読で、「平和への熱い思いを貫いて」と「喫茶店『門』となでしこの会」を取り上げた。参加者はどちらも約10人であった。



朗読後のフリートークでは、戦時中の体験談がいろいろ聞けて勉強になった。海外との行き来や大空襲を奇跡的に生き延びた女性たちが身の回りにまだおられることに感銘を受けると同時に、今のうちに記録しておくことの大切さを感じた。

色々お力添え下さったセンターの担当者にお礼申し上げたい。

(かまぐら女性史の会 西弘子)

バリアフリーカフェ よむべえ・DAISY等機器体験 …10/22

10月22日(木)鎌倉市中央図書館にてバリアフリーカフェを、朗読・録音奉仕会、鎌倉市点訳赤十字奉仕団の二団体のご協力をいただき、開催しました。また、障がい者福祉課・鎌倉市身体障がい者協会と連携をとりながら準備できたことは大きな喜びであり、成果だと思えます。J-comの取材があり、放映もされました。”よむべえ”が視覚に障がいを持った方々のために、もっと進化、改良され、読むことの楽しさ、出会いを経験することの楽しさが増えるようになることを願います。お茶を頂きながら、視覚障がいの方々から、直接ご希望をうかがうことができました。その中で、「童謡・歌謡曲の歌詞カード」「鎌倉の歴史資料本」などが欲しいとの声があがり、点訳図書の目録を調べていただいたとこ

ろ、数も少なく、かつ古いものしか無い事がわかりました。バリアフリー☆カフェを終えて見えてきた課題は、視覚障がいのかたがたに対する私たち開催側の基本研修の必要性。より多くの方に知って頂く、参加して頂くにはどのようにすればよいのか考えさせられました。図書館・市・市民団体の連携が、これからのよりよい障がい者サービスに繋がるのだと強く感じました。(図書館とともだち・鎌倉)



なにか？ふしぎな！おはなし会

～いろいろな国の絵本・手遊び・わらべうた～ …10/23

おはなし会を目当てで参加した子たちとその保護者、玉縄学習センターのフェスティバルで来館した大人の参加もあり、合計 21 名、多様な年齢層対象のおはなし会になりました。文化の面でのバリアフリーをテーマに、日本・海外の絵本やマザーグースのあそびうたなどのプログラムで、「ロンドン橋が落ちます」は英語で歌いました。0歳の子の参加もあったので大型絵本やわらべうたが多いプログラムがぴったりでした。手品は、3・4歳児がとても興味津々。時折手を伸ばしながら見てい

ました。いつもの図書館で行うおはなし会と雰囲気の違いをおはなし会を楽しんでもらえたのではないかと思います。周りの景色が違ったり、少し絵の感じや色使いが違ったりということはあるので、なんとなく日本との違いや反対に似たところを感じてもらえたらと思いました。



☆アンケートから

- ・手遊びなど、英語と遊びを組み合わせたものは、動くのが好きなうちの子も楽しく参加できました。
- ・ふだんの生活とはまたちがう体験ができて楽しかったです。

吉川久子本の森フルートコンサート …10/24

10月24日「吉川久子フルートコンサート」が開催され、参加者は54人でした。

昼間にはファミリーコンサート、夜には一般向け「本の森コンサート」を行い、フルートの音色が図書館に流れました。

＊ファミリーコンサートには、以前おなかの中でマタニティコンサートを聴いた！？という子どもも参加しました。赤ちゃん、親子連れなど子ども達が声を気にせずリラックスして生演奏を聞けるなごやかな会となりました。音楽に合わせて絵本『双子の星』の朗読もありました。

＊夜の本の森コンサートには閉館後の図書館に続々と参加者がつめかけ、演奏の合間の鎌倉ゆかりの曲や文学作品や作家さんの逸話も聞きながら本の森の夜が更けていきました。



☆アンケートから

- ・子どもと一緒に参加できるコンサートはなかなかないのでありがたかったです。またぜひ企画してほしいです。
- ・鎌倉に対する熱い想いに感動した。曲は「湘南太平記」がダイナミックでありながら、江戸時代の味わいを感じられて良かった。
- ・お話と演奏がとてもすばらしくお人柄がしのばれて楽しいひと時をいただきました。和の楽器にもなっていて新しい驚きでした。

英語のおはなし会 …10/29 @ 玉縄図書館

当日のプログラムの一部

おおがたえほん

『きんぎょがにげた』

五味太郎／作 福音館書店

『WHERE`S The FISH!』

アイシーアール出版

「Ring Around the Rosy」

♪Ring around the rosy

(手をつないでまわる)

A pocket full of posies

Ashes, ashes (おしりをふる)

We all fall down!

(しりもちをつく)

英語の絵本・紙芝居・わらべうたであそびました。以前にも何度か開催していますが、「次はいつですか？」とたびたび聞かれる人気行事です。日本語で読んで知っているものを英語で聞くのは、なんだか少し不思議で面白い体験です。子どもだけでなく、保護者の方も一緒に楽しんでもらえたようです。赤ちゃんは終始笑顔で絵本や紙芝居を見ていました。また、子どもたちはすぐに英語の歌を覚えていました。英語も日本語も関係なくそれを楽しんでいることがよく分かりました。

英語のおはなし会をもっと開催してほしい、英語の本をもっと置いてほしいというご意見もいただきました。英語のみならず多言語・多文化に関する需要が多いことを感じます。図書館でもそのような企画をこれから行ってゆけたらと思います。

世界のおはなし会～フランス語～ …11/3



★世界のお話会は第4回目となりました。お話やフランスの言葉を聞きたい子どもたち、読み聞かせボランティアをしている人たち、フランスの言葉や文化に触れたい方たちがたくさん参加しました。子どもたちは風車のわらべうたでぐるぐると手をまわしてはしゃいだり、大人はシャンソンをしみじみと聴いたり、最後にはみんなで大きな輪になってフランスのアビニョン橋ゆかりのフォークダンスを踊ってフランスを楽しむひと時を過ごしました。

★このイベントのお知らせを兼ねて腰越図書館で展示していたフランス関連本は好評で、補充しても補充してもどんどん借りられていきました。

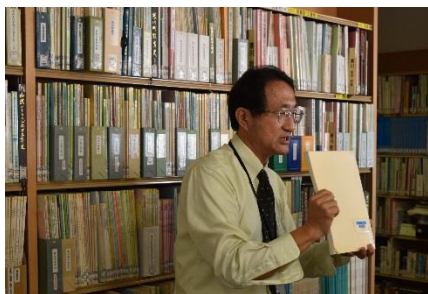
★鎌倉市子ども読書活動推進計画の中の日本語を母語としない子どもへのサービス、また、鎌倉市図書館サービス計画の多文化サービスの一環です。

☆アンケートから

- ・質問等の導入等、工夫されていて、すぐ子ども達もひきこまれて楽しんでいる様子。私も楽しめました。生の「枯葉よ」はじめて聴きました。レコードがあるのですね。
- ・美しいフランス語の響きをたんのうできました！

マイクロバスで行く

寒川文書館・鵜沼公民館 …11/4



街全体が舞台でそこから何を探してくるのか。

ボランティア主体の鵜沼郷土資料展示室では年3回の企画展示を実施し、コピーを展示することで、より手の届きやすい展示を行っている。一方で、町が責任を持って資料の保存をしている寒川文書館では、貴重な原本を書庫の中に保存することで、世界中から調査に訪れるとのこと。どの方向を目指すのか、行政が責任を持つとはどういうことなのか、改めて考えるツアーとなった。

☆アンケートから

- ・鎌倉にはない文書館を見学し、行政と民と一体化して作られ、運営も工夫しながら続けられているのが、大変であるがよいことですね。
- ・今回のツアー、企画の背景も何も知らず参加しましたが、地域のアーカイブのあり方について貴重なお話を聞く事ができ、とても勉強になりました。

今年度のファンタスティック☆ライブラリーは、総勢 970 名のご参加をいただきました。市民・ボランティアのみなさまのご協力のもと無事に終了することができました。ありがとうございました。

★これからの企画！

バックヤードツアー & 図書館で話そう！

おまちしています！

中央図書館書庫等のバックヤード見学と利用者交流会を
ワールドカフェ方式で行います！

日時：3月9日（水）午前10時～12時

場所：鎌倉市中央図書館多目的室

申込・定員…メールか電話で。申込先着15人

●[メール kama-lib@city.kamakura.kanagawa.jp](mailto:kama-lib@city.kamakura.kanagawa.jp)

（件名に利用者懇談会」と入れてください。）

●電話 25-2611（鎌倉市中央図書館）



編集：鎌倉市中央図書館 〒248-0012 鎌倉市御成町20-35 ☎ 0467（25）2611

鎌倉市の図書館：腰越図書館☎（33）0711 深沢図書館☎（48）0022 大船図書館☎（45）7710 玉縄図書館☎（44）2218